

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-181758

(43)Date of publication of application : 12.07.1996

(51)Int.Cl.

H04M 1/27

H04M 1/65

(21)Application number : 06-317899

(71)Applicant : NEC ENG LTD

(22)Date of filing : 21.12.1994

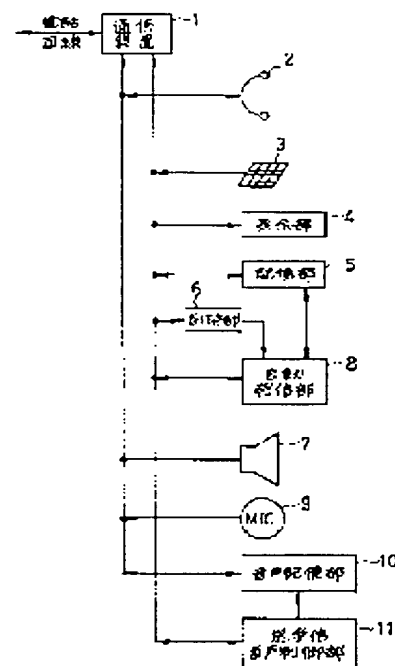
(72)Inventor : SAKO MASAYUKI

(54) TELEPHONE SET

(57)Abstract:

PURPOSE: To attain dialing to an opposite party and reception of a message from the opposite party by using a routine time automatic dialing function even when the caller of the telephone set is absent.

CONSTITUTION: When a voice storage section 10 uses an automatic dialing function of an automatic dialing section 8 to make automatic dialing to an opposite party the storage section 10 stores a message to the opposite party which is received from a microphone section 9 during the absence of the caller. A transmission reception voice control section 11 uses the automatic transmission function of the automatic dialing section 8 and when the dialing is made at the time of absence of the caller, the control section 11 controls the transmission of the message sent to the opposite party from the caller and the reception of a message from the opposite party after the line is connected.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-181758

(43) 公開日 平成8年(1996)7月12日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 M 1/27				
1/65	H			

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平6-317899

(22) 出願日 平成6年(1994)12月21日

(71) 出願人 000232047

日本電気エンジニアリング株式会社
東京都港区芝浦三丁目18番21号

(72) 発明者 佐光 雅之

東京都港区芝浦三丁目18番21号 日本電気
エンジニアリング株式会社内

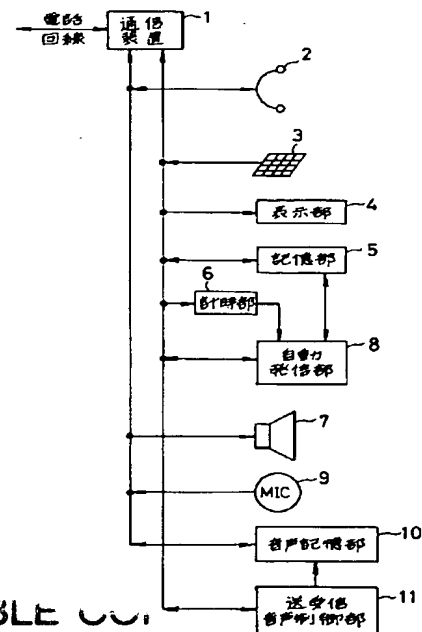
(74) 代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54) 【発明の名称】 電話機

(57) 【要約】

【目的】 発信者が不在の場合でも定刻自動発信機能を用いて相手先への発信及び相手先からのメッセージの受信を行えるようにする。

【構成】 音声記憶部 10 は自動発信部 8 の自動発信機能を用いて相手先への自動発信を行う場合、マイク部 9 から入力された発信者不在時の相手先へのメッセージを記憶する。送受信音声制御部 11 は自動発信部 8 の自動発信機能を用いて自動発信を行った時に発信者が不在であった場合、回線が接続した後に発信者から相手先に送信するメッセージ及び相手先からのメッセージのやりとりの制御を行う。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 現在時刻が予め設定された設定時刻となったときに予め登録された電話番号を基に相手先に発呼する定刻自動発信機能を有する電話機であって、前記相手先との回線接続時に送受話器がオフフック状態にあるか否かを判定する判定手段と、前記判定手段で前記送受話器がオフフック状態にないと判定された時に予め登録された前記相手先へのメッセージを送信する送信手段と、前記送信手段による前記メッセージに応答して前記相手先から返信されたメッセージを記憶する記憶手段とを有することを特徴とする電話機。

【請求項 2】 前記相手先へのメッセージを格納する格納手段と、前記相手先へのメッセージを前記格納手段に登録する登録手段とを含むことを特徴とする請求項 1 記載の電話機。

【請求項 3】 前記記憶手段に記憶された前記相手先からのメッセージを外部指示に응答して読出す読出し手段を含むことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 記載の電話機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は電話機に関し、特に現在時刻が予め設定された設定時刻となったときに予め登録された電話番号を基に相手先に発呼する定刻自動発信機能を有する電話機に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、この種の電話機においては、図 3 に示すように、計時部 6 で現在時刻と予め登録された設定時刻との一致が検出されると、自動発信部 8 の制御によって記憶部 5 に予め登録された電話番号を基に通話装置 1 及び電話回線を介して相手先への発信が自動的に行われるようになっている。

【0003】上記の定刻自動発信を行うにあたって、まずキーパット 3 から現在時刻を入力して計時部 6 に設定する。計時部 6 はその現在時刻から計時を開始し、現在時刻を表示部 4 に表示する。

【0004】指定時刻に相手先に電話をかける用件がある場合、例えばチケット予約等で相手先に電話をかける用件がある場合、キーパット 3 から指定時刻を設定時刻として記憶部 5 に記憶する。このとき同時に、相手先の電話番号についても登録電話番号としてキーパッド 3 から入力し、記憶部 5 に記憶する。

【0005】自動発信部 8 は計時部 6 で計時される現在時刻が記憶部 5 に記憶された設定時刻に一致する数秒前になると、現在時刻が設定時刻に一致した旨を表示部 4 に表示し、スピーカ部 7 からその旨を音声報知して自動発信許可入力を待つ。

【0006】設定時刻までにキーパット 3 から自動発信許可入力がなければ、自動発信は行われない。自動発信許可入力があると、自動発信部 8 は記憶部 5 から登録電

話番号を取出して通話装置 1 に出力し、設定時刻ちょうどに発信するよう制御する。通話装置 1 は自動発信部 8 の制御にしたがって登録電話番号を基に相手先に発信を行う。この定刻自動発信の技術については、特開平 2 - 2 8 5 7 5 8 号公報に詳述されている。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来の電話機における定刻自動発信機能では、予め設定された設定時刻になって記憶部に記憶した登録電話番号を基に相手先に自動発信を行う場合、発信者がキーパットから自動発信許可入力を行う必要があるため、発信者が不在の場合には相手先への発信を行うことができない。

【0008】そこで、本発明の目的は上記の問題点を解消し、発信者が不在の場合でも定刻自動発信機能を用いて相手先への発信及び相手先からのメッセージの受信を行うことができる電話機を提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明による電話機は、現在時刻が予め設定された設定時刻となったときに予め登録された電話番号を基に相手先に発呼する定刻自動発信機能を有する電話機であって、前記相手先との回線接続時に送受話器がオフフック状態にあるか否かを判定する判定手段と、前記判定手段で前記送受話器がオフフック状態にないと判定された時に予め登録された前記相手先へのメッセージを送信する送信手段と、前記送信手段による前記メッセージに응答して前記相手先から返信されたメッセージを記憶する記憶手段とを備えている。

【0010】本発明による他の電話機は、上記の構成のほかに、前記相手先へのメッセージを格納する格納手段と、前記相手先へのメッセージを前記格納手段に登録する登録手段とを具備している。

【0011】本発明による別の電話機は、上記の構成のほかに、前記記憶手段に記憶された前記相手先からのメッセージを外部指示に응答して読出す読出し手段を具備している。

【0012】

【作用】記憶部に予め記憶された設定時刻になったときに、記憶部に予め記憶された登録電話番号を基に自動発信部から相手先に発信を行う場合、相手先との回線接続時に送受話器がオフフック状態にあると判定された時に音声記憶部に予め記憶された相手先へのメッセージを送受信音声制御部の制御で相手先に送信する。また、そのメッセージに응答して相手先から返信されたメッセージを音声記憶部に記憶する。

【0013】これによって、発信者が不在の場合でも定刻自動発信機能を用いて相手先への発信及び相手先からのメッセージの受信、すなわち相手先との情報交換が可能となる。

【0014】

【実施例】次に、本発明の一実施例について図面を参照

して説明する。

【0015】図1は本発明の一実施例の構成を示すブロック図である。図において、本発明の一実施例による電話機は、マイク部9と音声記憶部10と送受信音声制御部11とを設けた以外は図3に示す従来例と同様の構成となっており、同一構成要素には同一符号を付してある。また、同一構成要素の動作は従来例の動作と同様である。

【0016】マイク部9は自動発信機能を用いて相手先への自動発信を行うときに発信者が不在の場合、発信者から相手先に送信するメッセージを音声入力するためのものである。

【0017】音声記憶部10はマイク部9から入力されかつ自動発信部8の自動発信機能を用いて自動発信を行った時に発信者が不在であった場合に発信者から相手先に送信するメッセージと、相手先からのメッセージとを記憶するためのものである。

【0018】送受信音声制御部11は自動発信部8の自動発信機能を用いて自動発信を行った時に発信者が不在であった場合、回線が接続した後に発信者から相手先に送信するメッセージ及び相手先からのメッセージのやりとりの制御を行う。尚、送受信音声制御部11は音声記憶部10に記憶された相手先からのメッセージを讀出してスピーカ部7から音声出力する。

【0019】図2は本発明の一実施例による定刻自動発信機能の動作を示すフローチャートである。これら図1及び図2を用いて本発明の一実施例による定刻自動発信機能の動作について説明する。

【0020】定刻自動発信を行うにあたって、まずキーパッド3から現在時刻を入力して計時部6に設定する。計時部6はその現在時刻から計時を開始し、現在時刻を表示部4に表示する。

【0021】指定時刻に相手先に電話をかける用件がある場合、例えばチケット予約等で相手先に電話をかける用件がある場合、キーパッド3から指定時刻を設定時刻として記憶部5に記憶する。このとき同時に、相手先の電話番号についても登録電話番号としてキーパッド3から入力し、記憶部5に記憶する。

【0022】また、発信者はこの設定時刻に電話機のそばにいられないことが分かっている場合、相手先に伝えたいメッセージを音声情報として予めマイク部9から入力し、音声記憶部10に記憶しておく。

【0023】自動発信部8は計時部6で計時される現在時刻が記憶部5に記憶された設定時刻に一致する数秒前になると、現在時刻が設定時刻に一致した旨を表示部4に表示し、スピーカ部7からその旨を音声報知する(図2ステップS1)。

【0024】同時に、自動発信部8は記憶部5から登録電話番号を取出して通信装置1に出力し、設定時刻ちょうどに発信するよう制御する。通信装置1は自動発信部

8の制御にしたがって登録電話番号を基に相手先に発信を行う(図2ステップS2)。

【0025】相手先との間で回線が接続された時、送受信音声制御部11は発信者が送受話器2をとってオフフック状態となっているか否かを判定する(図2ステップS3)。オフフック状態になっていると判定すると、送受信音声制御部11は何も行わないので、送受話器2から発信者による通常の通話動作が行われる(図2ステップS4)。

【0026】また、オフフック状態になっていないと判定すると、送受信音声制御部11は発信者が不在と判断し、音声記憶部10に予め記憶されているメッセージを通信装置1に出力するように命令する。通信装置1は音声記憶部10から讀出されたメッセージを電話回線を通して相手先に送信する(図2ステップS5)。

【0027】音声記憶部10に記憶されたメッセージが全て送信されると、送受信音声制御部11は音声記憶部10を音声入力状態とし、相手先からのメッセージが有るか否かを判定する(図2ステップS6)。

【0028】送受信音声制御部11は相手先からのメッセージがないと判定すると処理を終了し、相手先からのメッセージが有ると判定するとそのメッセージを音声記憶部10に記憶する(図2ステップS6)。その後に、送受信音声制御部11は処理を終了する。

【0029】音声記憶部10に記憶された相手先からのメッセージを聞く場合、発信者がキーパッド3からメッセージの讀出し指示を入力すると、送受信音声制御部11はその讀出し指示に応答して音声記憶部10に対するメッセージ讀出し命令を出力する。

【0030】送受信音声制御部11からの讀出し命令に応答して音声記憶部10から讀出されたメッセージはスピーカ部7から音声出力されるので、発信者はスピーカ部7を通して相手先からのメッセージを聞くことができる。

【0031】このように、記憶部5に予め記憶された設定時刻になったときに、記憶部5に予め記憶された登録電話番号を基に自動発信部8から相手先に発信を行う場合、相手先との回線接続時に送受話器2がオフフック状態にあると判定された時に音声記憶部10に予め記憶された相手先へのメッセージを送受信音声制御部11の制御で相手先に送信し、そのメッセージに回答して相手先から返信されたメッセージを音声記憶部10に記憶することによって、発信者が不在の場合でも定刻自動発信機能を用いて相手先への発信及び相手先からのメッセージの受信、すなわち相手先との情報交換を行うことができる。

【0032】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、現在時刻が予め設定された設定時刻となったときに予め登録された電話番号を基に相手先に発呼する定刻自動発信

機能を有する電話機において、相手先との回線接続時に送受話器がオフフック状態にないと判定された時に予め登録された相手先へのメッセージを送信するとともに、そのメッセージに応答して相手先から返信されてきたメッセージを記憶しておくことによって、発信者が不在の場合でも定刻自動発信機能を用いて相手先への発信及び相手先からのメッセージの受信を行うことができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の一実施例の構成を示すブロック図である。

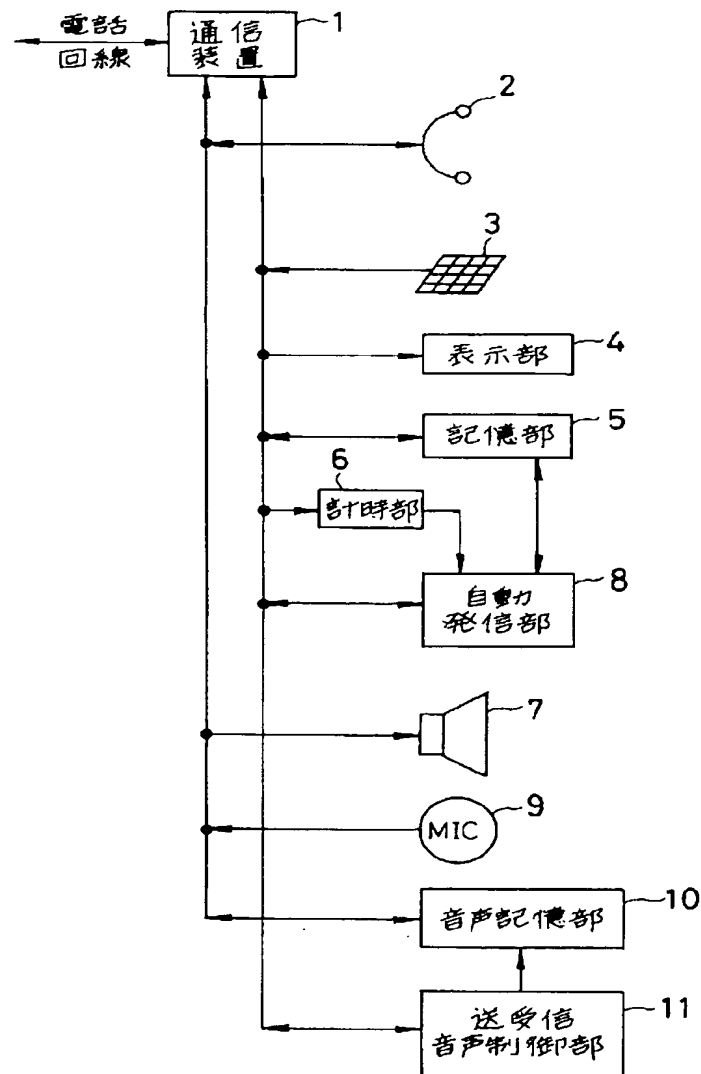
【図 2】 本発明の一実施例による定刻自動発信機能の動作を示すフローチャートである。

【図 3】 従来例の構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

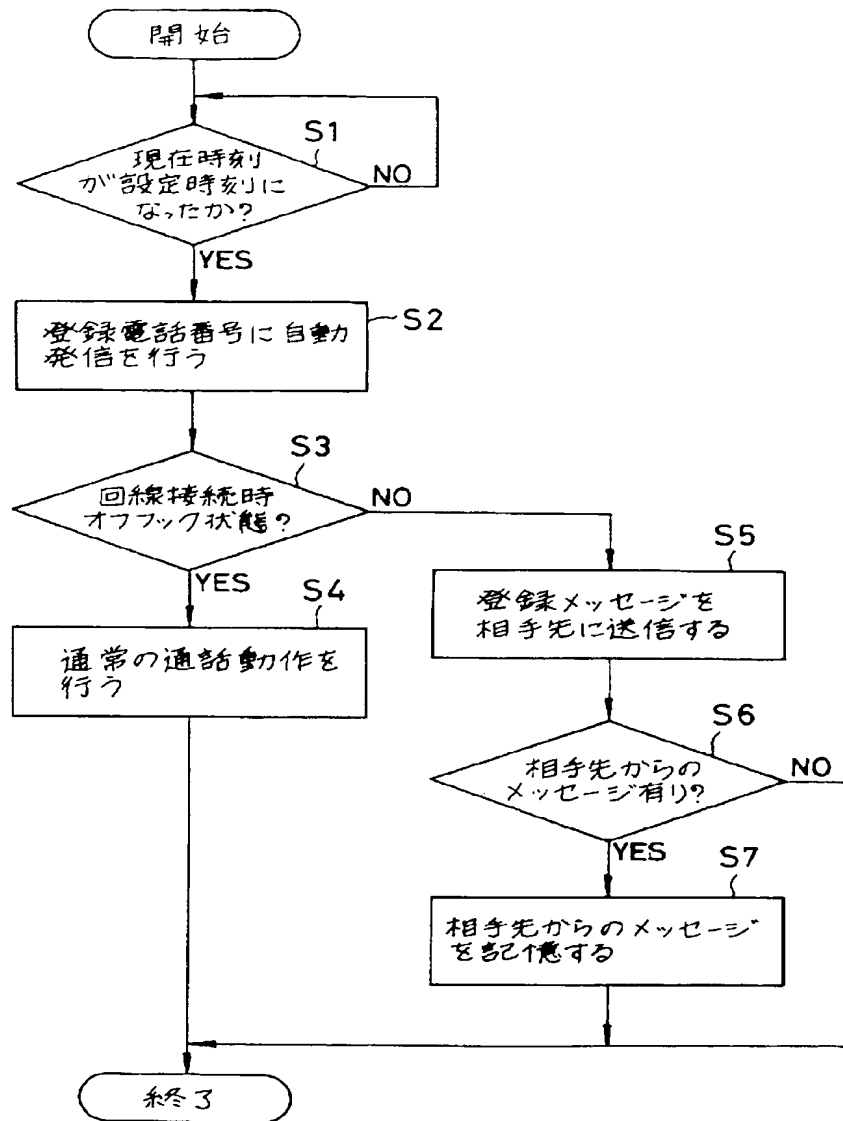
- 1 通信装置
- 2 送受話器
- 3 キーパット
- 5 記憶部
- 6 計時部
- 7 スピーカ部
- 8 自動発信部
- 9 マイク部
- 10 音声記憶部
- 11 送受信音声制御部

【図 1】



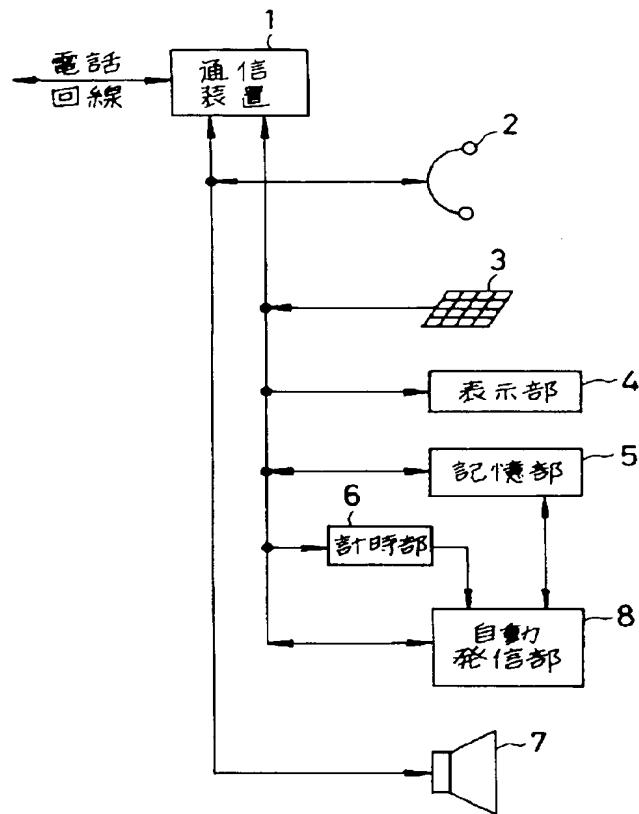
BEST AVAILABLE CC

【図2】



BEST AVAILABLE COPY

【図 3】



BEST AVAILABLE COPY